

もずくの基金で砂浜を守る 消費が産地の海に貢献



キーワード

地方創生／官民連携／水辺の保全・再生



地域・フィールド

沖縄

海

実施体制

伊平屋村漁業協同組合／伊平屋村／（株）海産物のきむらや／日本生活協同組合連合会／コープネット事業連合



アクションの目的

自然環境と生物多様性の保護等の目的を達成するため、村の経済の自立化に向けた取組を推進すること。

アクションの背景

1988年、北海道漁協婦人部連絡協議会（現女性連）により「お魚殖やす植樹運動」と名付けて河川上流部への植樹活動が開始された。陸域での開発行為が水産資源に深刻な影響を与えてきたという思いが背景の一つにあり、江戸時代から伝わる「魚つき林」の考え方にヒントを得ている。道森林組合連合会の協力・指導も得て実施された。

アクションの内容

【浜で水揚げされる水産物】

コープネット事業連合の会員6生協で販売する、伊平屋島のもずくを使用したコープブランド商品1点の買い上げにつき1円を「コープネット美ら島応援基金」に寄附。この寄附金を用いて海岸の清掃等を実施している。

村では漁民村民を中心に毎年5～6回にわたり、漂着ゴミの改修作業を行っている。年間約20トンの漂着ゴミを改修処分している。

生産体制の徹底により生産者の意識の向上を図っている（生産者番号、収穫日、収穫場所、缶詰日等を製缶時に記載）。

アクションのポイント

◎もずくが育つ伊平屋島の自然環境と生物多様性の保護等の目的を達成するためには、村の経済の自立化が必要との考えに基づき取組が進められている。島のもずく産業の振興により、自然環境を破壊するかたちのリゾート開発から島を守ることが意識されている。

アクションの効果

○伊平屋村（沖縄県最北端の離島村で2016.3現在の人口は1,247人）の特産物の1つは「もずく」で、その養殖は基幹産業であり、本取組は伊平屋島の振興・活性化を目的として進められている。

恩納村漁業協同組合

〒 904 - 0414 沖縄県国頭郡恩納村前兼久59

○ TEL / 098-964-2797 ○ web / <http://www.sangonomori.jp/> （恩納村コープサンゴの森連絡会）